astraJLPT Editorial

Ⓒ

Language Knowledge (Vocabulary/Grammar)・Reading

問題用紙

（２０２４-２）

N2

言語知識（文字・語彙・文法）・読解

（105分）

注 Notes 意

1．試験が始まるまで、この問題用紙を開けないでください。
Do not open this question booklet until the test begins.

2．この問題用紙を持って帰ることはできません。
Do not take this question booklet with you after the test.

3．受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じように書いてください。
Write your examinee registration number and name clearly in each box below as written on your test voucher.

4．この問題用紙は、全部で32ページあります。
This question booklet has 32 pages.

5．問題には解答番号の 1 、 2 、 3 … が付いています。解答は、解答用紙にある同じ番号のところにマークしてください。
One of the row numbers 1 , 2 , 3 … is given for each question. Mark your answer in the same row of the answer sheet.

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

Copyright ©2024 The Japan Foundation, and Japan Educational Exchanges and Services. All Rights Reserved.
Any reproduction or representation by any means, in whole or in part, is strictly prohibited.

問題1　＿＿＿の言葉の読み方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1　山本さんは優秀な社員だ。

1　ゆしゅ　　2　ゆうしゅ　　3　ゆしゅう　　4　ゆうしゅう

2　そんなことを言われたら、私も迷ったに違いない。

1　あやまった　　2　あせった　　3　まよった　　4　うたがった

3　今から行うのは背骨を伸ばす体操です。

1　せいこつ　　2　せこつ　　3　せいぼね　　4　せぼね

4　すぐに実践できるとは思っていなかった。

1　じっせん　　2　じっけん　　3　じっぜん　　4　じっげん

5　彼はコンサートで派手な衣装を着ていた。

1　いそう　　2　いしょう　　3　いじょう　　4　いぞう

問題2　＿＿＿の言葉を漢字で書くとき、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

6　けいびをもっと厳しくしたほうがいい。

1　警護　　2　係備　　3　警備　　4　係護

7　安全な場所にひなんをしてください。

1　被離　　2　避離　　3　被難　　4　避難

8　先祖をうやまう心を大切にしたい。

1　拝う　　2　敬う　　3　礼う　　4　尊う

9　パソコン教室のじゅこうの申し込みをした。

1　受講　　2　授講　　3　受校　　4　授校

10　あの人は本当にあつかましい人だ。

1　圧かましい　　2　厚かましい　　3　熱かましい　　4　暑かましい

問題3　（　　）に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

11　中村選手は日本を代表する（　　）選手だ。

1　高　　2　優　　3　名　　4　真

12　今日は月が地球に（　　）接近する日なので、通常の満月より大きく見えます。

1　特　　2　最　　3　極　　4　激

13　家のポストに私（　　）の手紙が入っていた。

1　宛て　　2　着き　　3　届け　　4　便り

問題4　（　　）に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

14 会員の登録が（　　）したので、今からサービスを利用できます。

1　決着　　2　完了　　3　終業　　4　到達

15 年を取って運動をしなくなると、筋肉がだんだん（　　）いきます。

1　潰れて　　2　欠けて　　3　尽きて　　4　衰えて

16 会議時間が残り少なくなったので、資料の詳細な説明は（　　）して、要点のみを説明した。

1　減量　　2　休止　　3　節約　　4　省略

17 この小説はフィクションだと（　　）いたが、実際にあった話らしい。

1　思い込んで　　2　思い起こして　　3　考え抜いて　　4　考えついて

18 山口さんは、子どもが怖がらないように優しい（　　）で話しかけた。

1　音声　　2　口調　　3　顔色　　4　内心

19 部下に仕事を教えるのは、上司の（　　）の一つだ。

1　労働　　2　勤務　　3　役目　　4　当番

20 森さんは外食のとき、いつも誰かに払ってもらおうとするので、（　　）人だと思う。

1　みずみずしい　　2　たどたどしい　　3　ずうずうしい　　4　よわよわしい

問題5　＿＿＿の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

21　佐藤さんがガイドしてくれました。

1　案内　　2　解決　　3　応援　　4　準備

22　この表現は修正したほうがいいですよ。

1　調べた　　2　覚えた　　3　直した　　4　使った

23　徐々に会社に慣れてきた。

1　ずいぶん　　2　いつのまにか　　3　やっと　　4　次第に

24　青いペンキがはげている。

1　取れて　　2　ついて　　3　乾いて　　4　こぼれて

25　彼女のあのしぐさは印象的だった。

1　考え　　2　動作　　3　服装　　4　言葉

問題6　次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

26 薄める

1　私には難しすぎたので、コースのレベルを薄めた。

2　部屋が暑かったので、エアコンをつけて温度を薄めた。

3　スープがしょっぱかったので、水を加えて味を薄めた。

4　うるさいと言われたので、テレビの音量を薄めた。

27 充実

1　今日の午後は雨の予報で、空には雲が充実している。

2　今はやりがいのある仕事ができて、毎日が充実している。

3　喫茶店の中は、コーヒーのにおいが充実している。

4　計画を実行するためには、まだ問題が充実している。

28 鮮明

1　次回のセミナーの開催日はまだ鮮明に決まっていない。

2　できそうにない仕事は鮮明に断ったほうがいい。

3　B社の製品のほうが性能が鮮明に優れている。

4　あのときの出来事は今でも鮮明に覚えている。

29 ふもと

1　明日、駅の ふもとで池田さんと会う約束をした。

2　あのビルの ふもとに、新しいお店ができるらしい。

3　山の ふもとに車を止めて、そこから登りましょう。

4　ドアの ふもとに猫がいて、開けることができない。

30 定年

1　私の会社は60歳が定年なので、あと半年で退職だ。

2　この乗り物は子ども向けのため、10歳が定年になっている。

3　この国では、定年の20歳になると選挙で投票することができる。

4　犬の定年は一般的に10歳から15歳の間だといわれている。

問題7　次の文の（　　）に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

31 水泳教室に通い始めたころは、怖くて水に顔をつけること（　　）できなかったが、今は泳ぐのが大好きだ。

1　なら　　2　ほど　　3　さえ　　4　ばかり

32 この作業はかなり大変なので、一日で終わらせるのは（　　）無理だろう。

1　つい　　2　まず　　3　たとえ　　4　今にも

33 母はいちごジャムを作るとき、いちご100グラム（　　）80グラムの砂糖を使う。

1　に対して　　2　に関して　　3　によって　　4　にあたって

34 この図書館には、借りている本を全部（　　）、ほかの本が借りられないという規則がある。

1　返したすえに　　2　返したとはいえ

3　返してはじめて　　4　返してからでないと

35 タクシー会社を経営する青山氏は、インタビューで「お客様から感謝の言葉を（　　）、人の役に立つ喜びを感じます。」と語った。

1　いただくよう　　2　さしあげるよう

3　いただくたび　　4　さしあげるたび

36 妻は息子にどうしてもピアノを習わせたいと言っているが、私は本人が（　　）無理にさせなくてもいいと思っている。

1　やらされないのなら　　2　やりたがらないのなら

3　やってほしくないのに　　4　やってもはじまらないのに

37 この研究を始めたころは、そんなことを研究して意味が（　　）批判的な意見も多かったが、最近少しずつ認めてもらえるようになってきた。

1　あるというような　　2　あるのかというような
3　あるということの　　4　あるのかということの

38 腕のけがはまだ完全に（　　）が、日常生活には困らなくなった。

1　治りようがない　　2　治らないでもない
3　治ったにすぎない　　4　治ったわけではない

39 私は20年前に初めて富士山に登った。山頂に立ったときの感動は今でも（　　）。

1　忘れがたい　　2　忘れかけている
3　忘れないといい　　4　忘れるおそれがある

40 洗濯機に入れるときに気づいたからよかったが、もう少しで大事な領収書をズボンのポケットに入れたまま（　　）。

1　洗濯したようだ　　2　洗濯するつもりだった
3　洗濯したせいだ　　4　洗濯するところだった

41 毎晩私は、5歳の娘が寝る前にベッドで本を読んでやるのだが、読んでいるうちに自分のほうが（　　）。

1　寝てしまうことがある　　2　寝ておくことがある
3　寝てしまうことにする　　4　寝ておくことにする

42 社長として、社員全員が仕事に満足できる環境を整えたい。それは単なる理想（　　）。いや、私は理想ではなく必ず実現できると信じている。

1　でしかないはずだ　　2　でなくてはいけないはずだ
3　でしかないのだろうか　　4　ではいけないのだろうか

問題 8　次の文の ＿★＿ に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

（問題例）

あそこで ＿＿＿ ＿＿＿ ＿★＿ ＿＿＿ は山田さんです。

1 テレビ　　2 見ている　　3 を　　4 人

（解答のしかた）

1. 正しい文はこうです。

あそこで ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿★＿ ＿＿＿＿ は山田さんです。 **1 テレビ　3 を　2 見ている　4 人**

2. ★に入る番号を解答用紙にマークします。

（解答用紙）

（例）	①	●	③	④

---

43 長く使っている電子レンジが壊れてしまった。古いものだし、修理に ＿＿＿ ＿＿＿ ＿★＿ ＿＿＿ 買い替えたほうがいいかもしれない。

1　もう　　2　考えると　　3　かかる　　4　費用を

44 娘「今度のスピーチコンテスト、参加しようかなあ。でも、自信ないなあ。」

母「チャレンジ ＿＿＿ ＿＿＿ ＿★＿ ＿＿＿ ?いい経験になると思うよ。」

1　だけ　　2　みたら　　3　する　　4　して

45 このドレスを着ると、 ＿＿＿ ＿＿＿ ＿★＿ ＿＿＿ 気分になる。

1　映画か何かに　2　なったような　3　出てくる　　4　お姫様にでも

46 昨日は「母の日」だったので、いつもおいしいお弁当を ＿＿＿ ＿＿＿ ★ ＿＿＿ 母が欲しがっていたアクセサリーをプレゼントした。

1　感謝の　　2　作ってくれて

3　ありがとうという　　4　気持ちを込めて

47 学生時代は、周りの人から ＿＿＿ ＿＿＿ ★ ＿＿＿ 無理して人に合わせようとすることが多かった。

1　言えずに　　2　気にするあまり

3　自分の本当の気持ちを　　4　自分がどう思われているかを

問題９　次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、 48 から 51 の中に入る最もよいものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

以下は、留学生の作文である。

文法

農業ボランティア

ゴメス フランシスコ

半年前、私は友達に誘われて、働き手が足りない農家を手伝う「農業ボランティア」を始めた。過去にごみ拾いなどのボランティアはしたことがあったが、農業ボランティアのことは友達に聞くまで知らなかった。私は日本でいろいろな経験をしたいと思っていたので、参加することにした。

私が手伝っているのは南さんという農家だ。40代のご夫婦がトマトやキャベツなど、いろいろな野菜を作っている。農作業は初めての経験だったが、農業は想像していた以上に知識や経験が必要だと感じた。 48 、収穫のタイミングは、成長の具合や天気予報を基に、いつがいいかを判断しなければならない。また、トマトなどは成長の段階に応じて与える水の量を変えないとしっかり育たない。体力 49 必要で、農業は本当に大変な仕事だ。

初めのころは、わからないことが多く、よく質問をして南さんたちの作業を止めてしまっていた。手伝いではなく邪魔をしているのではないかと不安になることもあった。それでも、「ありがとう。助かっているよ。」といつも声をかけてくれたので、だんだん自分も役に立てていると感じられるようになった。収穫したばかりのトマトを初めて食べさせてもらったときはあまりにおいしくて 50 。収穫したときの達成感や大切に育てた野菜を味わう喜びは、このボランティアに参加しなければ感じられなかっただろう。

農業ボランティアとして役に立てたことがうれしかったし、多くの貴重な経験をすることができた。 51 本当によかったと思う。

48

1　一方　　2　そして　　3　例えば　　4　ただし

49

1　だけ　　2　も　　3　は　　4　こそ

50

1　感動したことだ　　2　感動していた

3　感動したはずだ　　4　感動してしまった

51

1　やってみて　　2　やってみても

3　やってみたら　　4　やってみたから

問題 10　次の（1）から（5）の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

（1）

以下は、将棋のプロが書いた文章である。

物事を推し進め(注1)ていくうえで、その土台となるのは創造力でも企画力でもない。いくら創造力や企画力を働かせようとしても、道具となる知識や材料となる情報がなければ何も始まらないのだ。知識は、頭の中に貯えられた記憶や体験が土台になるのである。つまり、創造力やアイデアの源(注2)は、頭の中の記憶の組み合わせから生まれるもので、その土台がしっかりしていなければ、良いアイデアが閃くわけがないのだ。

（注1）推し進める：進める

（注2）源：もと

52　筆者の考えに合うのはどれか。

1　記憶力を高めることによって、物事がうまく進められる。

2　記憶されている知識や情報がもとになって、良いアイデアが生まれる。

3　知識や情報をたくさん集めれば、創造力や企画力が発揮できる。

4　どんなことでも記憶しておけば、創造力やアイデアの土台になる。

（2）

以下は、ある不動産管理会社に届いたメールである。

らくらくルーム社青寺店

森田様

花西マンション302号室に入居予定の木村です。

引っ越し当日の3月20日の金曜日、午前中に貴店で新居の鍵を受け取る約束でしたが、荷物が10時に到着することになりました。そのため、前日19日の午後に鍵を受け取りたいと思いホームページを確認したところ、貴店は木曜日が定休日でした。

鍵の受け取り日が定休日の場合は、ほかの支店で受け取れると書いてありましたので、仕事の帰りに中央駅前店に寄りたいと思いますが、鍵を受け取ることは可能でしょうか。お返事をお待ちしております。

木村ゆり

---

53 新居の鍵について、木村さんが問い合わせていることは何か。

1　3月19日の午後に青寺店で受け取れるか。

2　3月19日の午後に中央駅前店で受け取れるか。

3　3月20日の午前中に青寺店で受け取れるか。

4　3月20日の午前中に中央駅前店で受け取れるか。

（3）

以下は、美術作品の見方について書かれた文章である。

もし、何かの作品を見て、最初は「どうかな?」と感じたとしても、ふと「もしかしたら面白いかも」と思うことを私は「肯定のカケラ」と呼んでいます。「肯定のカケラ」を感じた時、その自分の変化を「見方がブレたのでは?」と思ってしまう場合がありますが、気の迷いとしてすませてしまっては、とてももったいないことです。それまで自分が認められなかったことを認めるのは、自分の可能性が広がることです。決してブレではありません。自分の変化に柔軟であることが大事です。

（注1）カケラ：ここでは、小さな部分

（注2）ブレる：ここでは、不安定になる

（注3）気の迷い：ここでは、間違った判断

54 美術作品の見方について、筆者はどのように考えているか。

1　自分の見方の変化を受け入れることが大事だ。

2　自分の可能性を広げるために、いろいろな見方をすべきだ。

3　よい作品を通して自分の見方を変えていくべきだ。

4　ほかの人が認めなくても、自分の見方を大事にすべきだ。

（4）

以下は、ある会社の社内文書である。

10月15日

担当者各位

商品管理部長

納品時の確認について

先週千川営業所で、注文とは違う商品を納品するというミスが発生しました。原因を調査したところ、当日、納品が重なったため、商品配送時の最終確認をしていなかったとのことです。

最終確認では、倉庫から商品を取り出した人とは別の人が、注文書と商品の内容・個数に間違いがないか確認することになっています。

どんな状況でもミスが起こらないように確認を徹底してください。

よろしくお願いします。

以上

55 社員が求められていることは何か。

1　ミスが起きた原因を調べ直すこと

2　最終確認をする人数を増やすこと

3　今までの最終確認の方法を見直すこと

4　決められている最終確認の方法をまもること

（5）

親子はもっとも身近でありながら、ときにもっとも遠くなってしまう存在かもしれない。私も母とは「わかり合えない」と悟(注1)ったときに、ある一定の距離ができたことは否(注2)めない。だが、そのことで愛情がなくなるとか、関係が冷えるとかそういう感覚は一切(注3)なかった。むしろ「わかり合えない」とわかることは相手を理解しようとするための最初の一歩なのではないかと思う。もし「子どものことはなんでも自分が一番よくわかっている」と思っている親がいるとしたら、それはとても怖いことだと思う。

（注1）悟る：気づく

（注2）否めない：否定できない

（注3）一切：全く

読解

56 親子について、筆者はどのように考えているか。

1　わかり合えないと思うところから、お互いの理解が始まる。

2　わかり合えないということに、お互いが気づくのは難しい。

3　わかり合うためには、一定の距離を保つことが大切だ。

4　身近な存在だからこそ、いつかはわかり合えるものだ。

問題 11　次の（1）から（4）の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

（1）

新年度が始まった。進級や進学、転勤やそれに伴う転居など変化の多い季節だ。新しい学校に進学したり職場を変わったりして新しい環境に入っていく人も多いだろう。（中略）

新しい環境では緊張や不安を感じるものだ。人見知り(注1)が強い性格だと、こうした変化が苦手だ。私もその一人だが、どんな場所でもいつも通り元気に自分の力を発揮する人を見ると、うらやましくも思える。こちらは少々のことで気持ちが揺れ動いているように思え、いつでも平常心で行動できればと考える。

しかし新しい環境で不安を感じないというのは、必ずしも良いことではない。慣れない環境で、何の不安も感じずにこれまでと同じような行動をしていたのでは、思いがけない失敗をする可能性がある。これまでの経験からは想定(注2)できないことが起きるかもしれない。人生、何があるかわからないのだ。

慣れない場所では、むしろ良くないことが起きる可能性を考えて慎重に行動した方が安全だ。私たちは不安を感じるからこそ、良くない事態に備えて準備しようと考える。緊張するからこそ、集中して、しかも慎重に問題に対応できる。実際に良くないことが起きたときの対応法もシミュレーション(注3)できる。

不安や緊張は自分を守る安全弁(注4)の働きをしている。不安や緊張を感じたときは、そのような気持ちを感じられる自分のこころの力を信じて、あれこれ考えすぎずに今自分にできることに集中するようにしてほしい。

（注1）人見知り：初対面の相手に緊張する気持ち
（注2）想定する：ここでは、想像する
（注3）シミュレーションする：ここでは、想像する
（注4）安全弁：ここでは、安全のための装置

読解

57 必ずしも良いことではないとあるが、なぜか。

1　予想しなかったことにうまく対応できないかもしれないから

2　これまでと同じような失敗をする可能性があるから

3　これまでのやり方を周囲に押しつけてしまうから

4　いつまでも新しい環境に慣れることができないから

58 筆者の考えに合うのはどれか。

1　不安や緊張を感じないように、平常心で今できることに集中すればいい。

2　不安や緊張を感じたら、原因を考えて次の行動に生かした方がいい。

3　不安や緊張を感じたら、その気持ちを大切にして迷わず行動するのがいい。

4　不安や緊張を感じても気にしないで、いつも通りのことをした方がいい。

（2）

「いぬ」は人間の家畜(注1)になる前から、群れで暮していた動物です。人間の家族の一員ともなれば集団生活の掟(注2)そのままに、飼い主を群れのリーダーや上位のものとみなし(注3)、日頃から服従(注4)の態度を示します。また、飼い主のその日の顔色を窺うなど、家庭内の空気を読みとりながら、上手にふるまう(注5)ことにも長ける(注6)ています。群れで生活する動物は、お互いの状況を把握(注7)して、それにあわせた行動をとることが、群れ社会のなかで生きていくには必要だからです。人間にとっても、「いぬのきもち」は非常にわかりやすく、会話はできなくとも、お互いなにを考えているかが理解しやすい動物です。そこが、「いぬ」と一緒に暮すことのひとつの魅力でもあるのでしょう。

一方、「ねこ」は、もともとが単独で行動していた動物ですので、家の中で人間の家族と一緒に暮すようになっても、協調性のようなものはありません。また、家族の中での自分の立場もあまり気にしないので、いぬのように、飼い主をリーダーとみなして服従することはありません。（中略）ねこがいったい飼い主である自分のことをどう思っているのか、飼い主であれば誰しも知りたいところですが、人間の持つ気持ちや感情の尺度では、完全には理解しがたい動物だと思います。ねこはそもそも集団生活をしない、個を重視する孤独な生き物だからです。しかし、この理解できないところが、ねこの大きな魅力のひとつであり、人間が、ねこと一緒に暮したがる理由のひとつではないでしょうか。

（注1）家畜：人間が飼って利用する動物

（注2）掟：ここでは、決まり

（注3）みなす：考える

（注4）服従の態度：ここでは、従う態度

（注5）ふるまう：行動する

（注6）長ける：優れている

（注7）把握する：ここでは、理解する

59 いぬについて、筆者はどのように述べているか。

1　所属する集団のリーダーとして行動しようとする。

2　リーダーや上位のものの利益のために行動できる。

3　孤独に慣れていないので、集団で行動することを好む。

4　集団生活をしていたので、周囲にあわせた行動ができる。

60 筆者によると、ねこを飼う人は、ねこのどんな点がいいと思っているか。

1　人間には気持ちがわかりにくいこと

2　人間の気持ちが理解できないこと

3　集団生活を嫌い、協調性がないこと

4　孤独を好み、人間に愛情を示さないこと

（3）

作家が小説を書くときは、頭の中に書いているシーンが「絵」や「映像」として浮かんでいます。そのシーンを言語化し、文字という記号にしているのです。読者は作家が書いた文字を読み、頭の中で想像しながら映像化します。そこで感情移入(注1)が起きて、笑ったり、涙したりしているのです。

小説がベストセラー(注2)となり映画化されると「この配役じゃない(注3)」「そのシーンは違う」といった声がよく上がりますが、これは当たり前のことです。映画というのは監督が原作を読んでイメージを膨らませ、映像化した作品だからです。原作の小説は読者一人一人が作家からの記号（文字）を受け取って、それぞれが自由にシーンを思い浮かべています。フランスの哲学者ロラン・バルトはこの現象を「作者の死」と表現しました。

「物語は作者の意図通りに読まなくてもいい。読者が好きな読み方をして、それぞれ解釈すればいい」

「作者は作品を支配できず、読者に解釈を任せなければならない」

ロラン・バルトはそう主張しました。私たちは作品の解釈を作者に求めがちです。これは作者の意図を正確に読み取ろうという発想です。そうではなく、作品の解釈は読者それぞれでいい。読者それぞれが頭の中で好き勝手に映像化していいのです。

（注1）感情移入：ここでは、登場人物と同じ気持ちになること

（注2）ベストセラー：最もよく売れている本

（注3）この配役じゃない：ここでは、演じている俳優がこの役に合っていない

61 当たり前のことですとあるが、なぜか。

1　監督より読者のほうが、感情を入れてイメージを膨らませるから

2　読者より監督のほうが、正確に原作を理解しようとするから

3　頭の中のイメージを正確に映像化することはできないから

4　人によって原作を読んで得たイメージが異なるから

62 小説の読み方について、筆者はどのように述べているか。

1　作者の意図を読み取ろうという姿勢があれば、自由に解釈していい。

2　作者の意図を読み取るのは不可能なので、好きなように読めばいい。

3　作者の意図に縛られずに、作品の解釈を行えばいい。

4　作者の意図を想像しながら、読んだほうがいい。

（4）

哲学は一般の人が、一般的な問題について考えるための学問です。「人生の意味とは何か」「人類に共通の利益はあるのか」「時間とは何か」「愛とは何か」「正義(注1)はどのように定まるのか」「国家はどのようにあるべきか」「法の役割とは何か」「正しい認識(注2)にはどうやって到達するのか」「宗教は必要か」などが哲学の典型的な問いです。

これらの問いは、複数の教科や学問分野の根底(注3)に関わるような問題であることはおわかりでしょう。「愛とは何か」を考えることは、個人的な愛についての考えを尋ねているだけではなく、隣人愛(注4)は、社会のなかで人々のつながりはどうあるべきか、家族愛は、家族とはどうあるべきかといった、社会におけるみんなの問題となってくるはずです。社会観や家族観は、政策(注5)や法律の設定とも関係してくるでしょう。（中略）

しかし哲学のもうひとつの重要な仕事は、それぞれの専門的な知識を、より一般的で全体的な観点から問い直すことです。たとえば、遺伝子治療(注6)は非常に専門性が高い分野です。しかし遺伝子治療の範囲をどこまで認めていいのか。遺伝子を組み替えて難病にかかりにくくした子どもを作っていいのか。人間の遺伝子に対して、人間はどこまで改変(注7)してよいものなのでしょうか。

こうしたことは、社会のだれにでも関わってくるので、医学の専門家だけに判断を任せてよい問題ではありません。社会に存在している常識や知識や技術を、人間の根本的な価値に照らし合わせてあらためて検討することは重要な哲学の役割です。

（注1）正義：人としての正しい行い

（注2）認識：ここでは、理解

（注3）根底：土台

（注4）隣人愛：ここでは、社会で交流のある人への愛

（注5）政策：政治の方針と手段

（注6）遺伝子治療：遺伝子に働きかける治療法

（注7）改変する：変える

63 筆者によると、哲学の典型的な問いとはどのようなものか。

1　複数の学問分野の知識をもとにして考えるべき問い

2　社会のなかでの理想的な愛の形についての問い

3　個人の利益ではなく、社会全体の利益につながる問い

4　さまざまな事柄の基礎につながる、あらゆる人々に関わる問い

64 もうひとつの重要な仕事とは何か。

1　専門ではない人の視点で、専門的な知識を再検討すること

2　各分野の専門家の視点で、人間の根本的な価値観を検討すること

3　一般の人に、専門的な知識をわかりやすく伝えること

4　一般の人に、人間の根本的な価値観を理解させること

問題 12　次のAとBの文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

A

暗記することに苦手意識を持つ人は多い。必死に暗記してもなかなか記憶に残らなくて嫌になる気持ちは理解できるが、覚えられないのは自分の記憶力がよくないからだと考えるのは問題だ。暗記ができる人は、生まれつき記憶力がよいのではなく、暗記のしかたを工夫しているのだ。

暗記するときは、目で見るだけでなく、ほかの感覚も働かせるのが効果的だ。声に出すことで、耳からも情報がインプットされさらに確かなものになる。書くことで、あいまいな内容が整理され論理的に理解しやすくなる。このようにいくつかの感覚から脳に刺激を与えることで、記憶力をアップさせることができる。

B

暗記したことを忘れないようにするには、どうしたらいいだろうか。記憶に残るようにするには、いつ暗記するかが重要だ。脳が最も働くのは朝や午前中だといわれているが、暗記には、夜寝る前の30分が最も適している。覚えた知識が睡眠中に脳内で整理され、記憶に残りやすくなるからだ。暗記を終えたら、テレビを見るなど余計なことはせずにすぐに寝る。翌朝に復習すれば、記憶はより強化されるだろう。

暗記したことを忘れてしまうのは記憶力のせいではなく、暗記のしかたが間違っているのだ。脳の働きを理解し上手に利用すれば、無理なく暗記することができる。

65 暗記について、AとBが共通して述べていることは何か。

1　暗記したあとに復習することで、記憶力が上がる。

2　暗記したことを忘れるのは、記憶力の問題ではない。

3　暗記をし続けても、記憶力は強化されない。

4　暗記に対して苦手意識があると、記憶力もよくならない。

66 暗記のしかたについて、AとBはどのようなアドバイスをしているか。

1　AもBも、さまざまな方法を試しながら自分に合った方法を見つけて暗記するといいと述べている。

2　AもBも、内容に応じて、朝か夜かを変えながら暗記するといいと述べている。

3　Aは複数の感覚を使って暗記するといいと述べ、Bは夜寝る前に重点的に暗記するといいと述べている。

4　Aは声に出したり書いたりして暗記するといいと述べ、Bは自分で暗記に適した時 間を見つけて暗記するといいと述べている。

問題 13　次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

多くのマネジャーやリーダーの人たちに聞くと、部下や後輩に対しては、「なんでも相談するのではなく、自分で工夫して取り組んでほしい」「次にやるべきことを自分で考えて、動いてほしい」という思いをもっています。

ところが一方で、同じマネジャーやリーダーの人から、「自分がやったほうが早い」「育てている暇がない」といった言葉も洩れてきます。部下や後輩に育ってほしいと願ってはいるものの、そのために自分の時間を割いて教え育てる時間の余裕も心の余裕もないというところなのでしょう。

確かに部下や後輩を育成するのはとてもやっかいで時間がかかります。新入社員を育てる場合には、仕事を細かく一つひとつ教え込んで理解させ、させてみて、フィードバック(注1)することを繰り返す必要があり、相当のエネルギーを費(注2)やさなければなりません。中堅社員や(注3)中途採用者であれば、一人ひとりの個性や能力を考慮しながら対応しなければならないというむずかしさがあります。基本的な職務遂行力(注4)があり、経験もプライドもある人に何をどこまで教えればよいのか。丁寧に教えすぎれば、「そのくらいはわかっています」と反発されるかもしれないし、大丈夫だろうと放置(注5)していたら、実は何もわかっていなかったということにもなりかねません。メンバーの主体的な努力をうまく引き出しながら、方向づけをして、しかもよい結果や成果が得られるよう支援していく手加減(注6)が大変むずかしいのです。

（中略）

育てようとすることで、みえてくるものがたくさんあります。たとえば、自分にとってとても簡単なことでも、相手になかなか理解してもらえないことがあると気づきます。物事を理解するにもスタイルがあって、個人によってそれは異なるのだとわかります。したがってこの方法がだめならば、今度はこちらの方法で説明しようと、教えるためにはさまざまな工夫が求められます。口頭で説明したけれど理解されなかったので、今度は、紙に絵を描きながら説明しようというように、いろいろな角度からいろいろな方法を使い分けていくことも学びます。

教えることを通じて、自分でもよく理解していなかったと気づくこともあります。教えるためには曖昧なところ、理解の不十分なところがないように勉強しなければなりません。勉強することで、自分の知識やスキル(注7)がまた上がるのです。

（注1）フィードバックする：ここでは、成果に対してコメントを返す
（注2）費やす：使う
（注3）中堅社員：主力となって働いている社員
（注4）職務遂行力：仕事をやり抜く能力
（注5）放置する：放っておく
（注6）手加減：ここでは、調整のしかた
（注7）スキル：技術

読解

67 筆者によると、マネジャーやリーダーは部下や後輩にどうしてほしいと思っているか。

1　教えられたことを参考にしながら、自分でもやり方を工夫してほしい。
2　自分で工夫して、一つひとつの仕事にかける時間を減らしてほしい。
3　何をやるべきかを自分で考えて、どうやるかを相談してほしい。
4　何を、どうやるべきかを自分で考えて、仕事を進めてほしい。

68 筆者によると、中堅社員や中途採用者の指導において何がむずかしいか。

1　多くの時間とエネルギーを使って、仕事を細かく教えること
2　それぞれの個性や能力に応じた指導をすること
3　前の仕事の経験を生かせるような指導をすること
4　プライドを傷つけずに、基本的なことを教えること

69 教える側の人について、筆者の考えに合うのはどれか。

1　部下や後輩の指導では、相手を理解することに時間をかけるべきだ。
2　部下や後輩から学ぶ姿勢があれば、自分の知識や技術が向上する。
3　部下や後輩を育てることで気づきが得られ、自らも成長できる。
4　自身が成長するために、多くの部下や後輩を指導したほうがいい。

問題 14　右のページは、あるホテルのホームページに載っている案内である。下の問いに対する答えとして最もよいものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

70　カールさんは、同じ大学の友人と二人で北原ホテルに泊まりたいと考えている。ベッドがあり、お風呂がついている部屋を選ぶつもりだ。「朝食つきプラン」で日曜日に宿泊する予定だが、希望に合う部屋の一人分の料金はいくらになるか。

1　7200円

2　7200円に 1100円を加えた金額

3　10500円

4　10500円に 1100円を加えた金額

71　ナディアさんは、4月8日に一人で泊まる予定で、「朝食つきプラン」で部屋を予約しているが、特別和食膳の夕食もつけたくなった。今日は4月4日である。追加料金はいくらで、ホテルへの連絡はいつまでにしなければならないか。

1　追加料金は1000円で、4月6日の午後5時までに連絡する。

2　追加料金は1000円で、4月7日の午後5時までに連絡する。

3　追加料金は4000円で、4月6日の午後5時までに連絡する。

4　追加料金は 4000円で、4月7日の午後5時までに連絡する。

公共の宿 北原ホテル

【お部屋のタイプ】

Aタイプ（定員1~3名）	8畳の和洋室、ベッド2台、お風呂なし
Bタイプ（定員2~4名）	10畳の和室、ベッドなし、お風呂つき
Cタイプ（定員2~6名）	12畳の和洋室、ベッド2台、お風呂つき

※全室、トイレ、冷蔵庫、テレビが完備されています。

【料金表】（宿泊・食事代込み、土曜日を除く）（単位：円）

お部屋のタイプ		Aタイプ		Bタイプ		Cタイプ	
宿泊する人数		1名	2〜3名	2名	3〜4名	2名	3〜6名
プラン	食事なし	7,000	6,000	8,500	6,500	9,300	6,800
	朝食つき	8,200	7,200	9,700	7,700	10,500	8,000
	朝食・夕食つき	11,200	10,200	12,700	10,700	13,500	11,000

※上記は、大人（中学生以上）1名の料金です。子供（4歳から小学生まで）は大人料金の半額、3歳以下は無料になります。土曜日は上記料金に1,100円を加えた料金になります。

【食事について】

● 食事つきプランのお食事のご案内

夕食: おさしみがメインの和食膳をご用意 しております。追加料金1,000円で天ぷらつきの特別和食膳に変更できます。特別和食膳への変更は、希望される日の2日前の午後5時までにご連絡ください。メニューの詳細は、「レストラン」のページをご確認ください。

朝食: 和食か洋食のセットメニューをお選びいただけます。

● 予約後に、お食事の追加予約を希望される方

夕食は3,000円（特別和食膳は4,000円）、朝食は1,200円の追加料金で承ります。夕食は希望される日の2日前の午後5時までに、朝食は希望される日の前日午後5時までにご連絡ください。

公共の宿 北原ホテル
電話 588-551-0703